

## 平成30年度実施 大網白里市住民協働事業 成果報告書

事業名	メールマガジン利用の協働のまちづくり活性化事業	
事業主体	実施団体	市（関係課）
	NPO 法人市民ステーション・まちサポ	地域づくり課

事業費	予算額	決算見込額	市補助金額（交付決定額）
	300,000 円	343,639 円	300,000 円

### 【 ①目的・課題について 】

次の事項がわかるように、事業概要を記入してください。

○どのような地域課題（行政課題）、住民ニーズに対して、

○いつ ○どこで ○誰を対象に ○どんなことを ○どのような方法で実施したか。

**地域課題** 大網白里市は、協働のまちづくりがうたわれ始めた頃より、市民活動が活発な市であり、これまで様々な市民・市民活動団体が協力し合い、創造豊かな活力ある地域社会を目指して活動してきた。こうした市民の力は、これからのまちづくりにとっても益々必要になってくると思われる。しかし、当時活躍していた団体は、どの団体を見てもほとんどが、世代交代の時期に差し掛かっており、存続すら危ぶまれ、協働のまちづくり促進のための取り組み方に変化が出てきており、市民同士・市民活動団体相互の連携が取りにくくなってきている。メールマガジンを定期的に配信し、行政や市民活動の現状を多くの市民に知ってもらい、まちづくりに興味を持つ人材を育成、発掘する。

#### 実施したこと

- ・メールマガジンを平成30年7月より定期的に、大網白里市民や大網白里市に興味のある方に向けて、大網白里市の情報や各市民活動団体の情報を集約して発信
- ・IT講習会（SNS勉強会）をまちサポで、市民に呼びかけ、LINE、Facebook、Twitter、Instagramの勉強会と、ウィックスを使って、ホームページ作成体験の勉強会を2月に全4回実施
- ・市民交流会を1月～3月にかけて、隔週で5回開催、市民活動団体に対して案内を郵送し、参加の返事と、不参加の方にはご意見を出していただいた。1回目の交流会の時に不参加の方からの意見も参加の皆さんに伝え、1回目終了後議事録を郵送した。
- ・交流会の中で出された、横芝・成東駅前の交流館、蓮沼交流センターの視察に行った。

## 【 ②企画・効果 】

次の事項がわかるように、成果を記入してください。

○事業の内容が具体的で目標達成に向けて適切だったか。

○協働で行うことでどのような効果が得られたか。

○住民の満足度は得られたか。 ○他の団体との連携や協力により効果をあげたか。

○事業を行うことで、市民や地域、他の団体への波及効果（広がり）はあったか。

- ・メルマガの配信については予定通り開始できたが、行政からの情報提供は10月までなく、地域づくり課から広報担当に催促してもらったが、1月からまたなくなってしまった。結局、ホームページから情報を探すしかなく、協働で行った感じはなかった。
- ・メルマガを購読してくださった方は、128名と、目標は達成できなかったが、登録しないで読んでいるとの話も聞いた。購読している方は、メルマガの情報を利用してくれた方もいたので、内容的には、間違っていないと思う。他団体の方には、情報の提供を促したが、応じてくれたのは、4団体だけだった。
- ・SNSの利用が広がっているので、SNSを利用しての情報発信が不可欠になると思い、自分たちの活動をそれぞれで発信出来るように勉強会を行った。
- ・平成31年2月に、LAIN、Facebook、Twitter、Instagramの勉強会と、ウィックスを使って、ホームページ作成の体験を4回に分けて行う。
- ・各回5～6名定員で市広報紙で参加募集し、それぞれが自分のスマホやノートパソコンで受講する。参加された方からは「次はいつですか?」「是非やってください」とのご意見が来ているので、また計画したいと考えている。
- ・市民活動センターがあればそこで実施したかったが、センターは使用できず、中央公民館もITの環境が整っていないとのことで、まちサポで実施したことから、協働で行ったと思えない。
- ・市民活動支援センターができたので、そのお披露目も兼ねて、センターを広く利用していただくために、市民交流会を行う計画を立てましたが、実際には、自由に使うことのできないセンターだったので、できないと思い、中止の方向で考えていました。が、市民が利用したい市民活動支援センターができないのなら、市民としてどうすべきなのかこれからの事を考える事も必要なのかと思い直し、交流会を開催しました。
- ・平成31年1月～3月にかけて5回開催。1回目は、協働が始まってからの10年を、民間と行政とに分けて説明、その後それぞれの思いを話してもらった。2回目は、行政の職員が休んだので、行政への不満が出てきてしまった。行政への不満を出す場ではないので、軌道修正をかけながら5回まで行った。
- ・その結果、市民の交流できるセンターは必要、また、市民の意見を行政に届けるために協議体が必要との結論になった。
- ・横芝・成東駅前に来た交流館を視察に行った。それぞれ、地域創生拠点整備事業から資金を引き出し、会議室など無料で会議ができたり、学生の学習室となっていたり、すばらしい拠点になっていた。

- ・横芝では、移住コーディネーターを住民に委嘱されており、住民が町の活性化のために働いていて、住民と行政の連携がうまくいっていることを、勉強してきた。
- ・これらのことは、5回目の交流会で報告。協議体の必要性を確実なものにした。
- ・交流会に行政の職員が参加しなかったので、ここでも協働で行うことの意味を感じなかった。

協働による効果について、自己評価（☑）をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体	市（関係課）
<input type="checkbox"/> 効果があった <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果があった <input type="checkbox"/> あまり効果はなかった。 (理由) 市の情報が思うように入らなかったの で、協働で行っているとは思えなかった。	<input type="checkbox"/> 効果があった <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果があった <input type="checkbox"/> あまり効果はなかった。 (理由) ・中間支援組織としてのノウハウを生かし、 行政が行うよりも充実した内容のメール マガジンを配信することができた。

### 【 ③実行力 】

団体と市の役割分担について、実際に担った役割を記入してください。

団体の役割	市（関係課）の役割
メルマガの作成・情報収集 IT 講習会の実施 市民交流会の開催	・広報紙・ホームページ・区長回覧を通じた 周知 ・打合せ会議への出席 ・市民交流会への出席

また、その役割分担は適正であったかについて、自己評価 (☑) をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体	市 (関係課)
<input type="checkbox"/> 適正であった <input type="checkbox"/> 概ね適正であった <input checked="" type="checkbox"/> あまり適正でなかった (理由) こちら側は、適正であったと思うが、実際には、行政からの情報が10・11・12月の3回しか入らなかったのは、大きな誤算だった。 市民活動支援センターができるのを期待して計画したので、使用できなかつたのは予定外だった。	<input type="checkbox"/> 適正であった <input checked="" type="checkbox"/> 概ね適正であった <input type="checkbox"/> あまり適正でなかった (理由) ・メールマガジンに掲載する内容の充実を図るため、秘書広報課から直接行事内容等の提供ができるようにする等、団体が活動しやすい方法を模索することができた。

事業スケジュールについて、当初の計画と実際に実施した内容 (実績) を詳細に記入してください。

当初の計画	実 績
4・5月メールマガジン勉強会・配信準備 6月メールマガジン配信準備・宣伝 IT関連からの情報発信講座開催 7月メールマガジン配信 (毎月1回) 市HP掲載、登録開始 まちづくり講座開催 (協働事業申請のための勉強会) 8月メールマガジン配信 (毎月1回) IT関連からの情報発信講座開催 9月メールマガジン配信 (毎月1回) 市民交流会開催 10月メールマガジン配信 (毎月1回) まちづくり講座開催 (地域リーダー養成) 11月メールマガジン配信 (毎月1回) 市民交流会開催 12月メールマガジン配信 (毎月1回) IT関連からの情報発信講座開催	4・5月メールマガジン勉強会・配信準備 6月メールマガジン配信準備 7月メールマガジン配信 (毎月2回) 宣伝 (チラシ制作・地区回覧) 8月メールマガジン配信 (毎月2回) まちづくり講座開催 (協働事業申請のための勉強会) 9月メールマガジン配信 (毎月2回) 10月メールマガジン配信 (毎月2回) 11月メールマガジン配信 (毎月2回) 12月メールマガジン配信 (毎月2回) 1月メールマガジン配信 (毎月2回) 市民交流会開催 2月メールマガジン配信 (毎月2回) 市民交流会2回開催 IT関連からの情報発信講座開催 (SNS勉強会 全4回) 3月メールマガジン配信 (毎月2回)

1月メールマガジン配信（毎月1回） 市民交流会開催 2月メールマガジン配信（毎月1回） 3月メールマガジン配信（毎月1回） 市民交流会開催	市民交流会2回開催 他市の交流館視察
---	-----------------------

また、当初の計画と実績をみて、事業スケジュールの組み立ては妥当であったかについて、自己評価（☑）をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体
<input type="checkbox"/> 適正であった <input checked="" type="checkbox"/> 概ね適正であった <input type="checkbox"/> あまり適正でなかった (理由) 市民活動支援センターが使えないとわかった段階で、仕切り直しが遅かったため、年度末に集中してしまい、人材の発掘までに至らなかった。

#### 【 ④継続性 】

住民協働事業により「人・もの・情報・スキル」等、団体の活動基盤が強化した点や活性化した点について記入してください。

(例：〇〇を購入したことにより〇〇のスキルが上がり、効率的に活動できた。〇〇活動により団体の認知度が高まり、参加者が増えるとともに会員も増えた。)

また、2年目、3年目の事業については、1年前、2年前と比べて、事業を継続したことで得られた効果も記入してください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民交流会において、協議体の必要性が見えたことは、来年度の課題として取り上げることができたことは、これからの活動につなげることができるし、市の活性化も図れることとなるだろう。来年度は、協働にはなっていないが、地域づくり課の協力をお願いしたいと考えている。</li> <li>・メルマガの配信は、内容の変更もせずに今後も継続していく予定で、市の宣伝にもなる。ただし、市の職員が、掲載を認めてくれればの話。今の体制を考えると、許可をもらえるかが心配だ。</li> <li>・メルマガの配信で認知度が高まり、相談事などまちサポを頼りに、訪ねてくる方が増えてきた。</li> </ul>
---

- ・ SNS の勉強会は、無線ルーターを購入したので効率的に行え、リクエストもあるので、これからは講師の予定を考慮しながら実施の予定。

また、その結果について、自己評価 (☑) をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体

- 強化、活性化した
- 概ね強化、活性化した
- あまり強化、活性化しなかった

(理由)

メルマガを通して、まちサポを知ってもらったのは成果があったと思う。

【 ⑤必要性 】

団体と市が協働することで、行政サービスの充実・効率化等につながったか、協働による効果について記入してください。また、協働事業として実施し、良かった点や問題点等について記入してください。

団 体

- ・メルマガは古いと思われがちですが、これから行う行事や事業を知ってもらうには、定期的に送られるので、適切だと思う。秘書広報課の職員には「今時どうして？市は Twitter をやっているから」と言われたが、メルマガと Twitter はその仕様には違いがあり、この市の Twitter は活動の報告の方が多く、メルマガはこれからの事の情報発信なので、もっとその点を理解してもらい、情報を教えてもらいたかった。
- ・情報発信という点では、読者数が思うほど伸びなかったが、購読の登録をせずに読んでいる方もいて、数値より多くの方が読んでくれていることは確実。実際に新聞を取っていない方でも購読していたり、メルマガで読んだから「行って見た、来て見た」という話しも届いたので、活性化には多少なりとも貢献出来たと思う。
- ・担当課からの情報はあまりこなかったが、他課の職員には、メルマガの存在を知ってもらった事ができ、メルマガに掲載したいとお願いするときにスムーズに事が運んだので、その点は協働に取り上げてもらう事ができたからだと思う。
- ・協働で行う事で、メルマガの信用性につながったと思う。

市

- ・市民活動団体がメールマガジンを配信することで、行政が配信する画一的な内容よりも充実した内容を配信することができた。また、市民以外の方に対しても、市の情報を配信することができ、市の行事や魅力を広く伝えることができた。
- ・市民交流会については、市内で活動している団体と市民活動団体の置かれている現状や課題について、検討する機会を設けられたことは意義があったと思う。しかし、市民交流会の内容が行政に対する批判に終始してしまったことは残念だったと思う。

また、その協働による効果について、自己評価 (☑) をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体	市 (関係課)
<input type="checkbox"/> 効果があった <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果があった <input type="checkbox"/> あまり効果はなかった。 (理由) 協働で行う事で、メルマガの信用性が持てた。	<input type="checkbox"/> 効果があった <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果があった <input type="checkbox"/> あまり効果はなかった。 (理由) ・市の情報が届きづらい市民や市外の方に対して広く情報を発信することができ、市の行事や魅力を伝えることができた。